



Press Kit Nordic Circle

The Nordic Pavilion

Agenda

Press Kit Nordic Circle

01 概要	P.3
02 北欧パビリオンからのメッセージ	P.4
03 北欧パビリオンのコンセプト	P.6
04 パビリオン概要	P.10
06 ナショナルデー	P.15
08 Joint Nordic Day	P.23
07 パートナー企業	P.26
08 お問い合わせ先	P.30

概要

北欧地域は人口2,700万人、GDP1兆6,000億米ドルを誇る重要な市場で、ヨーロッパ第5位、世界第10位の経済規模を持ちます。北欧諸国は協力を通じてその強みを高め、より高い目標を追求しています。

北欧5カ国パビリオンの万博参加は、2025年で3回目となります。過去2回も日本で開催された大阪万博と愛知万博に出展し、北欧の魅力を発信してきました。また、日本との友好関係も深く、相互理解を促進するためにも、日本開催の万博は5カ国揃って参加になります。北欧5カ国（デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン）は、地理的に近接しながらも、それぞれ異なる文化、言語、習慣を持つ国々です。

2025年の大阪万博では5カ国が連携し、テクノロジー、イノベーション、サステイナビリティの分野で共通の取り組みを紹介します。

北欧パビリオンは、革新と持続可能性を追求する北欧の未来像を体感できる場となります。

北欧パビリオンからのメッセージ



Lena Abrahamsson Lund

(レナ・アブラハムソン・ルンド)

Chief Project Director

(チーフ・プロジェクト・ディレクター)

- メディア・プロダクション業界での実績を持つ経験豊富なコンサルタント。
- イベントプロデュース、デジタル、ハイブリッド、IRに精通。イベント企画、統合マーケティング、マーケティング戦略、イベント管理。
- ノバーレ・マネジメント・プログラム、IHMビジネススクール卒業。



Marie Eck (マリー・エック)

Pavilion Director

(パビリオン・ディレクター)

- マーケティングおよびコミュニケーション分野のエキスパートで、国際イベント運営、ブランド戦略、ビジネス開発に豊富な経験を持つ。
- 特に、文化外交、サステナビリティ、イノベーションを軸としたグローバルプロジェクトのリーダーに携わる。



Dag Olav Koppervik

(ダグ・オラブ・コッペルビク)

Project Director (プロジェクト・ディレクター)

- 2020年ドバイ万博でのノルウェーパビリオンの運営を始め、国際イベントに多く携わる。
- パビリオン建設、展示のコンセプト設計、レストランの委託業者選定等、パビリオンの設営と運営の双方を担当。

ご取材可能事項

- ・ 北欧パビリオンの進捗状況
- ・ パビリオンコンセプト・北欧5カ国全体について

ご取材可能事項

- ・ パビリオンコンセプト
- ・ パビリオンの建築について

北欧パビリオンからのメッセージ

オンライン
or書面のみ

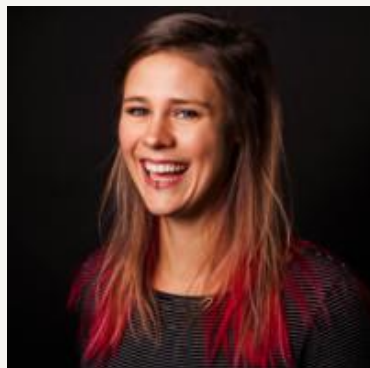


Michele De Lucchi
(ミケーレ・デ・ルッキ)

Architect (建築家)

イタリア、フェラーラ生まれ。フィレンツェ大学卒業。「スタジオ・アルキミア」で家具や照明を手掛けた後、1981年ソットサスらと共に「メンフィス」を結成。ポストモダンの旗手と言われ、アルテミデやカルテルなど多くの企業で製品を手掛けた。1990年には自身のブランドである「プロドゥツィオーネ・プリヴァータ」を設立。現代を代表する建築家・デザイナーの一人として活躍を続けている。

ご取材可能事項
パビリオンデザインや
こだわりについて



Lemke Meijer (レムケ・マイヤー)

Experience designer

(展示デザイナー)

アイスランドのデザインスタジオに所属し、数々の展示作品を手がける。国内外のデザインアワードの受賞歴も多く、特に展示と人との間にアクションを交えたインタラクティブデザインの分野で活躍。

ご取材可能事項
展示エリアのデザインや
こだわりについて



Frida Ronge (フリーダ・ロンゲ)

レストランメニュー監修

スウェーデン・ヨーテボリ出身のシェフで、2007年から 北欧と日本の料理の融合に取り組んできました。彼女のクリエイティブな料理哲学は高く評価され、スウェーデンの権威あるレストランガイド「White Guide」で「ライジングスター・オブ・ザ・イヤー」を受賞するなど、数々の賞を獲得しています。

ご取材可能事項
・レストラン全体について
・コンセプトやメニューなど



Ai Ventura (ヴェントウラ愛)

カフェメニュー監修

12年以上スウェーデン・ストックホルムを始め北欧諸国で活動しており、日本と北欧の文化をつなぐ素敵なお菓子を作り続けています。2013年にスウェーデンに移住して以来、日本の皆さんにFIKA文化を伝えてきました。万博の北欧パビリオンで、本場の北欧スイーツを提供できることを光栄に思います。ぜひご家族や友人と一緒にThe Nordic Food Barを訪れて、本格的なFIKAを体験してください！

ご取材可能事項
カフェメニューについて

北欧パビリオンからのメッセージ – 各国代表

ご取材可能事項
・各国の視点での大阪万博参加について
・パビリオンへの思い・こだわり
・自国の文化 など

DK 



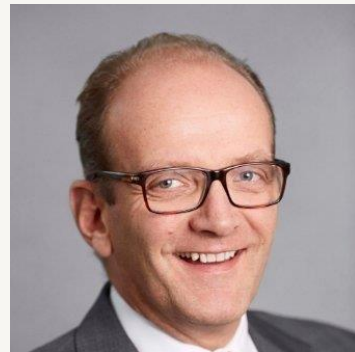
Stine L. Guldmann

(スティーネ・L・グルドマン)

Denmark

デンマークは、北欧サークルを通じて生活の調和を紹介し、2025年大阪万博を日本との関係強化の機会と捉えています。イノベーションや持続可能性への共通の取り組みを基に、食品安全や海運、ライフサイエンス分野での貢献を強調しながら、より良い未来を共に目指すことを期待しています。

NO 



Finn Kristian Aamodt

(フィン・クリスティアン・アモット)

Norway

ノルウェーは、食の安全、エネルギー、グリーン海運などSDGsに貢献する持続可能なソリューションを紹介し、他国から学ぶ機会を光榮に思っています。北欧5カ国が尊敬、称賛、信頼を基盤に協力し合う姿勢は、世界への重要なメッセージとなります。

IS 



Ragnar Thorvardarson

(ラグナー・トルヴァルダースン)

Iceland

2025年大阪万博では、北欧5カ国の信頼関係を象徴する「北欧サークル」を体験していただけます。大自然とオーロラで知られるアイスランドは、平和と男女平等で常に世界トップにランクされ、日本では高級シーフードやクリエイティブなアーティストで親しまれています。革新的な技術やグリーンエネルギーへの取り組みを共有し、大阪のノルディック・パビリオンでアイスランドの魅力をぜひお楽しみください！

FI 



Nita Pilkama

(ニタ・ピルカマ)

Finland

世界一幸せな国フィンランドから「モイモイ！」サウナ、ムーミン、サンタクロースで知られるフィンランドは、万博で持続可能な開発やクリーンエネルギー、責任ある消費、デジタル開発、健康、気候変動対策に注目します。これらの分野でのスマートなイノベーションを通じて、未来の世代にも幸せな暮らしを届けることを目指します。

SE 



Cecilia Ekholm

(セシリア・エクホルム)

Sweden

私たちにとって自然はとても大切な存在です。スウェーデン独自の「自然享受権 (Allemansrätten)」のおかげで、自然を壊さずにマナーを守れば、誰でも自由に大自然を楽しむことができます。

万博では、スウェーデンの食や文化もご紹介します。一緒に学び、イノベーションを起こし、そしてより良い未来に向けた持続可能な社会を築いていきましょう。

Nordic Circle

「ノルディック・サークル」は、私たち北欧諸国が持つ最善の力を結集し、
まだ見ぬ新しいつながりを創り出すメッセージです。

今だからこそ、共に協力し合い
未来に向かって歩むことを呼びかけます。

団結し、達成を祝い、学びを分かち合い、共に疑問を持ち、
考えを共有することは信頼を築くことにつながります。
そして、協力は持続可能な成長を世界中で加速させるでしょう。

さらに次のゴールを目指し、大きな目標を見据え、より良い未来を創造するために、
お互いを信じることから始めましょう。

北欧と共に、より良い明日へ

Nordic Circle | グリーン・トランジション &サーキュラー・エコノミー

■再生可能エネルギー／環境にやさしいエネルギーの リーダーシップ

北欧地域は、風力、水力、地熱といった多様な再生可能エネルギーに秀でており、世界のグリーンエネルギー転換の模範となっています。アイスランドは地熱、ノルウェーは水力、デンマークは洋上風力、スウェーデンと世界の持続可能な開発ランキングで1位のフィンランドは原子力と水力、風力を組み合わせて利用しています。また、ノルウェーの電力消費量の90%以上再生可能エネルギーでまかなわれています。

■循環型ソリューションと廃棄物管理

副産物のアップサイクルや消費量の削減といった革新的なアプローチは、ビジネスや日常生活の実践に組み込まれた循環型の考え方を示しています。★**北欧のエネルギーや循環型経済の取り組みについては、アニメーションを使った展示で学ぶことができます。**

★**パビリオン建築に使用した木材は、日本国内で調達し、万博終了後もリユース予定です。**



Nordic Circle | ライフスタイル&ウェルビーイング

■ ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

北欧諸国は、国連「世界幸福度報告書」で常にトップ10に入り、フィンランドは8年連続で首位を獲得しています。仕事、余暇、家族との時間のバランスを支える社会制度や政策が、国民の幸福度を高めています。北欧の人々は、家族や友人と過ごすシンプルでリラックスした瞬間を楽しむことを大切にしており、特に「ヒュッゲ」や「フィーカ」といった独自の文化がその象徴です。

★パビリオン内カフェでもフィーカを体験できるお茶菓子を用意しています。



■ 食料生産と農業における持続可能性

北欧諸国は、持続可能で革新的な食品ソリューションをリードしており、地元産のオーガニック食品、責任を持って生産された食品、動物福祉に焦点を当てています。

★パビリオン内レストランでも、ノルウェー産・アイスランド産シーフードやデンマーク産お肉を使用予定です。



Nordic Circle | コネクティビティ & モビリティ

■ デジタル化と万人へのアクセス

北欧諸国は、デジタルデバイドの解消に取り組み、特に公共サービスにおけるデジタルソリューションを、利用者本位で社会のすべての人々が利用しやすい形で提供することを目指しています。また、デンマークは電子政府ランキング世界第1位でもあります。★パビリオンではQRコードを読み込むと、北欧5カ国の様々な情報を知ることができます。

■ グリーン・モビリティ・イノベーション

北欧は、電気自動車や公共交通システム、共有モビリティモデルを通じて持続可能な交通をリードしています。効率的で環境に優しい公共交通網は、国境を越えて広がり、特に電気機関車を使った列車が人気です。

■ スマートシティと都市デザイン

北欧の都市は、都市計画において持続可能性を優先しており、二酸化炭素排出量を削減し、連結性を高める統合モビリティソリューションを採用しています。★パビリオンも雨を防ぎながらも自然の風を取り込み、空調機械の使用を抑える構造となっています。



パビリオン概要

北欧パビリオンは、北欧らしい木のデザインとリサイクル可能な素材を活用した木造構造で、時代を超えた持続可能な価値観を体現しています。その形状は**北欧の伝統的な納屋**をイメージし、シンプルさと機能美を追求した北欧デザインが随所に反映されています。

建物内には、北欧5カ国が共同で展開する展示エリアやショップ、屋上のレストラン・カフェ、会議室、イベントスペースが設置されています。

また、複雑な装飾を排除したシンプルな設計は、自然との調和を重視しており、風通しを良くする工夫が施されているのが特徴です。**雨を防ぎながらも自然の風を取り込み、空調機械の使用を抑える設計により、持続可能な建築を実現**しています。

このパビリオンは、**北欧デザインの哲学を象徴**する建築となっています。



- 建設開始：2024年5月20日
- 高さ：17m（3階建て）
- 面積：1,200 m²
- 総合施工パートナー：Rimond（リモンド）
- 設計：ミケーレ・デ・ルッキ&AMD Circle
- 施工サブコントラクター：ビームスコンストラクション

パビリオン概要 | フロア別

■ 1階

ビジター展示/体験およびフロントプラザショップ

■ 2階/3階

カンファレンスセンター

メイン会議室（90平方メートル）は2階にあり、
さまざまなサイズの会議室が併設されています。

企業イベントやプレゼンテーションはこのフロア
で開催されます。

■ ループトップテラス

レストランとテラス（200平方メートル）



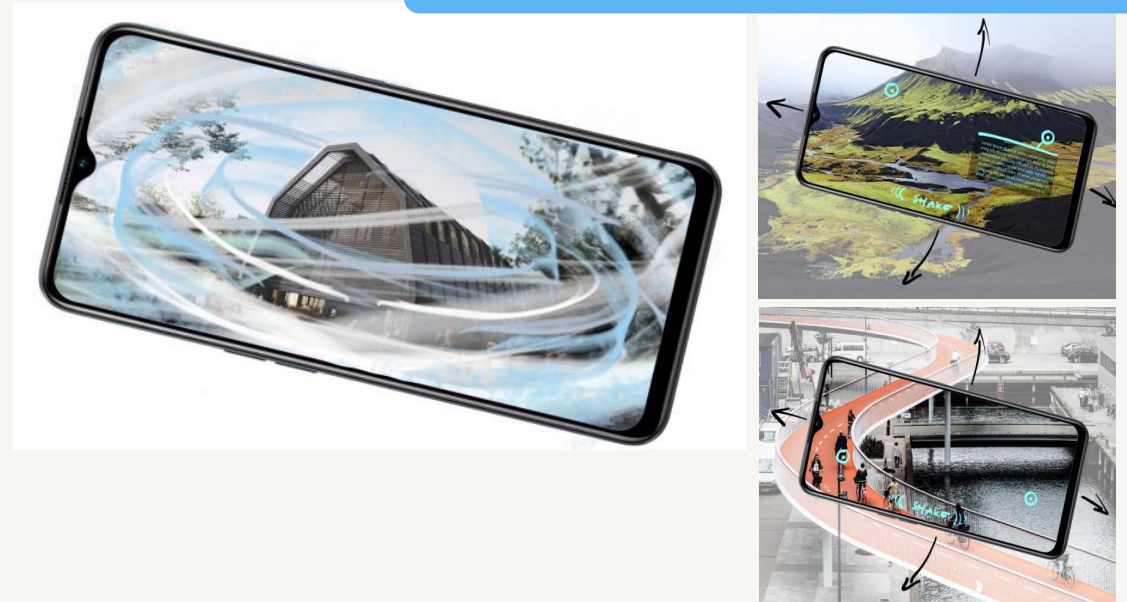
パビリオン概要 | 屋外

■ 待ち時間にはスマートフォン1つで北欧体験が可能

訪問者は北欧パビリオンでの体験を待つ間、序章としてスマートフォンを使った北欧体験を楽しむことができます。スマートフォンで指定のQRコードを読み取ると、パビリオンの周囲を渦巻くように動く映像が表示されます。その後、視聴者は地球の上を飛ぶようにして北欧へと移動し、スマートフォンを振ることで、アイスランドの炭素回収施設やコペンハーゲン港に架かる美しい自転車橋など、各国の特色が感じられる場所に着地します。

■ 北欧フードが楽しめる「フードトラック」が登場

パビリオン前にはフィンランドを代表するキャラクター「ムーミン」のアイスクリームやスムージー、シナモンロールも登場。



パビリオン概要 | レストラン

One for the store.
One for the restaurant.

パビリオン内のレストランとショップは、「Nordic Circle」からインスピレーションを得て、2つのコンセプトを掲げています。

■ Nordic Food Bar

パビリオン3階のルーフトップレストラン「The Nordic Food Bar」は、「**食品廃棄物ゼロ**」のビジョンを掲げ、循環型社会への貢献を目指し、持続可能性を追求したダイニング体験を通じて、訪れる人々にインスピレーションと喜びを提供します。

フリーダ・ロンゲ氏が監修するフードメニューは、**スカーゲンと呼ばれる北欧伝統のオープンサンド**に日本要素である柚子胡椒を利かせてアレンジしたり、北欧のシーフードをちらし寿司に使用するなど、**北欧の味覚に日本の要素取り入れた特別な料理体験**を提供します。更に、ノルウェーやデンマークのビールを始めとするアルコールなど本場の食卓を味わうことができます。

ヴェントラ愛氏が監修するカフェメニューは、**スウェーデンの春の風物詩のお菓子セムラ**や、**フィンランドの郷土料理カレリアンパイ**など、家族や友人と過ごす温かな時間への想いを込めたスイーツを用意。“北欧時間”を感じられるひととき提供します。



パビリオン概要 | ショップ

■ Nordic Shop

北欧の創造性、職人技、デザインの本質を体現する店舗です。
北欧諸国全体への敬意を込めて、その美しさを紹介するユニークな製品や体験を提供しています。

ムーミンやスウェーデンの絵本「長くつ下のピッピ」といった北欧を代表するキャラクターのグッズ、パートナーでもあるレゴを始めとする小物類から、北欧各国のファッションブランドのバッグ・ウェア・アクセサリー、北欧の最新のガジェット類からパフューム、北欧の味わいが楽しめる食品やお酒まで幅広いラインナップを揃えています。

■取り扱いブランド・商品一例

※商品内容は変更になる可能性があります。

インテリア雑貨

HAY
Carl Hansen & Son
Skultuna
Iris Hantverk
Amoln

デザイン小物

Amoln
Design House

ファッション

CDLP
Gaston Luga
Klättermusen
Helly Hansen
Kalevalakoru
Skultuna

食器

littala
Arabia
Muurla

Nordic Circle

キッズ

LEGO
Martinex
Rätt Start

コスメ

Blue Lagoon

その他

Sudio
Kreafunk
Teenage Engineering
食品・アルコール類



Partner for the restaurant : Logonet Oy

パビリオン概要 | 体験

■ 五感で北欧を体験できる没入型展示

白く半透明な**再生可能な素材**が渦を巻くように空中に吊るされ、展示室を360度覆います。素材は、食べられなくなったお米を利用した「ライスペーパー」。

高さ6メートル以上に達するこれらのライスペーパーには、北欧の人々の日常を写したダイナミックな映像が映し出されます。また**北欧を再現した室温や香り**などにより、**五感で北欧を体験できる没入型展示**となっています。

■ ランドスケープ

3つ並ぶ黒い岩のような造形物は、人が近づくとセンサーが反応して映像が流れるグラフィックパネルとなっています。それぞれ「ライフスタイル&ウェルビーイング」、「モビリティ&コネクティビティ」、「グリーン・トランジション&サーキュラー・エコノミー」の3つのテーマに分かれており、渦の中で探求されるテーマの答えとなるコンテンツをご覧ください。北欧の魅力的な事実を、あらゆる年齢層が楽しく親しみやすい方法で紹介しています。

- Designed and produces by Exponex, Kvorning Aps, Habegger AG, Rintala Eggertsson Architects, Wintenex and Gagarin



各国ナショナルデー

北欧パビリオンでは、各国ごとに5つのナショナルデーが設定され、以下のスケジュールで開催されます。

[Event-Calendar-EN.pdf \(expo2025.or.jp\)](#)

2025年4月24日:	デンマーク
2025年5月14日:	スウェーデン
2025年5月29日:	アイスランド
2025年6月2日:	ノルウェー
2025年6月12日:	フィンランド





ナショナルデー | デンマーク

テーマ：デンマークデー（デンマークの一日）

日付：2025年4月24日（木）

北欧パビリオン5カ国の中で初めてのナショナルデーは、フレデリック10世・デンマーク王国国王陛下のご臨席のもと、デンマーク王国の文化・イノベーション・持続可能な未来を象徴する1日となりました。

<公式オープニングセレモニー>

公式オープニングセレモニーでは、フレデリック10世・デンマーク王国国王陛下、2025年日本国際博覧会政府代表 羽田浩二氏が出席しました。

セレモニーの最後には、日本とデンマーク王国を代表する音楽家のデンマーク系日本人シンガーソングライター、ミイナ・オカベ氏のライブと、ヤコブ・プロ氏、ニコライ・バスク氏、高田みどり氏による北欧と日本の音楽が交差するジャズトリオによるライブパフォーマンスが披露されました。

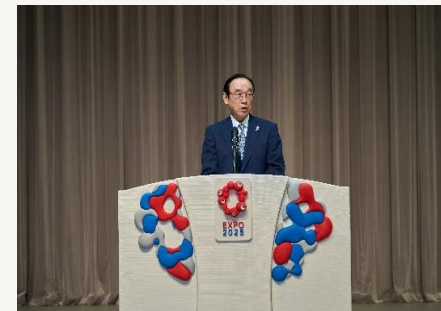
<大阪・関西万博会場の視察>

フレデリック10世・デンマーク王国国王陛下は北欧パビリオンをはじめとする大阪・関西万博の会場を見学されました。

<デンマーク・デー 特別コンサート>

夕方には、「デンマーク・デー 特別コンサート」が、デンマーク王国政府高官 モーテン・ボズコウ産業・ビジネス・財務大臣の挨拶で幕を開けました。

その後、デンマーク王国のジャズギタリストのヤコブ・プロ氏、ピアニストのニコライ・バスク氏、日本のパーカッショニスト高田みどり氏による、3人でのジャズパフォーマンスが披露されました。最後には日本・デンマーク王国にルーツを持つ世界的アーティストミイナ・オカベ氏が登場し、代表曲「Every Second」や、4月25日に発売する待望のセカンドアルバムからセレクトした楽曲で会場を魅了しました。



© Robin Skjoldborg



ナショナルデー | スウェーデン

テーマ：スウェーデンと共に、不可能を可能に

日付：2025年5月14日 (水)

「スウェーデン・ナショナルデー」は、55年前の大阪万博にもご臨席されたカール16世グスタフ国王陛下とともに、日本とスウェーデンの強い友好関係を象徴する特別な1日となりました。

<公式オープニングセレモニー>

公式オープニングセレモニーでは、国王やスウェーデン政府代表团、経済界関係者、2025年日本国際博覧会政府代表 羽田浩二氏が出席しました。

セレモニーの最後には、スウェーデンの人気アーティスト、マリン・クリスティン氏、日本や韓国の大人気グループの楽曲も手掛ける世界的プロデューサー、アルビン・ノルドクビスト氏による特別ライブパフォーマンスが披露されました。

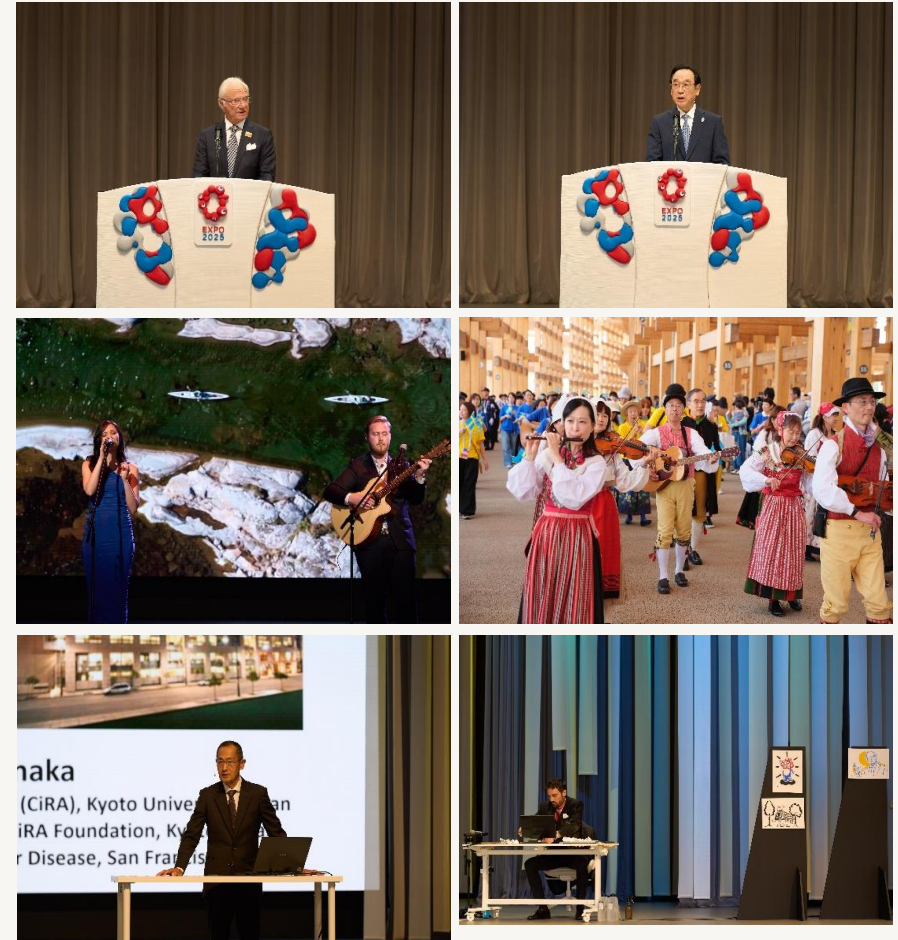
<ナショナルデーパレード>

式典後には、大屋根リングにてスウェーデンの伝統衣装を身にまとった約80名によるナショナルデーパレードが行われました。

<スウェーデン・ビジネス・サミット>

また午後には開催された「スウェーデン・ビジネス・サミット」では、iPS細胞の発見でノーベル賞を受賞された山中伸弥教授が基調講演を行いました。

続いて行われた「パイオニア・プライズ」授賞式では、スウェーデンの中小企業による革新的な取り組みが紹介され、国際開発協力・対外貿易大臣のベンヤミン・ドゥーサ氏より【GreenIron】に賞が手渡されました。また、ノーベル賞受賞者の肖像画で知られるスウェーデンのイラストレーター、ニクラス・エルメヘッド氏が、サミットが行われている様子をライブドローイングで表現しました。



© Robin Skjoldborg



ナショナルデー | アイスランド

テーマ：平和とジェンダー平等

日付：2025年5月29日(木)

「アイスランド・ナショナルデー」では、ハトラ・トーマスドッティル大統領（以下、大統領）を迎え、17年連続世界で最も平和な国（※1）、また世界1のジェンダー先進国(※2)として「平和とジェンダー平等」をテーマに多彩なプログラムが展開されました。

<未来、平和、そしてSDGsについて若者とトークセッション>

アイスランド・ナショナルデーは、国連パビリオンでのディスカッションで幕を開けました。大統領が登壇し、日本および世界各国の若者たちと「平和」や「SDGs（持続可能な開発目標）」、「これからの未来」について対話を交わしました。

<「世界ではじめての女性大統領のはなし」をテーマにしたトークセッション>

北欧パビリオン内では、「世界ではじめての女性大統領のはなし」と題したトークセッションが行われ、絵本作家ラウン・フリーゲンリング氏と翻訳者・詩人の朱位昌併氏が登壇し、女性のリーダーシップの可能性や多様性について語らうひとときとなりました。

<ジェンダー平等・女性のエンパワーメントに関するトークセッション>

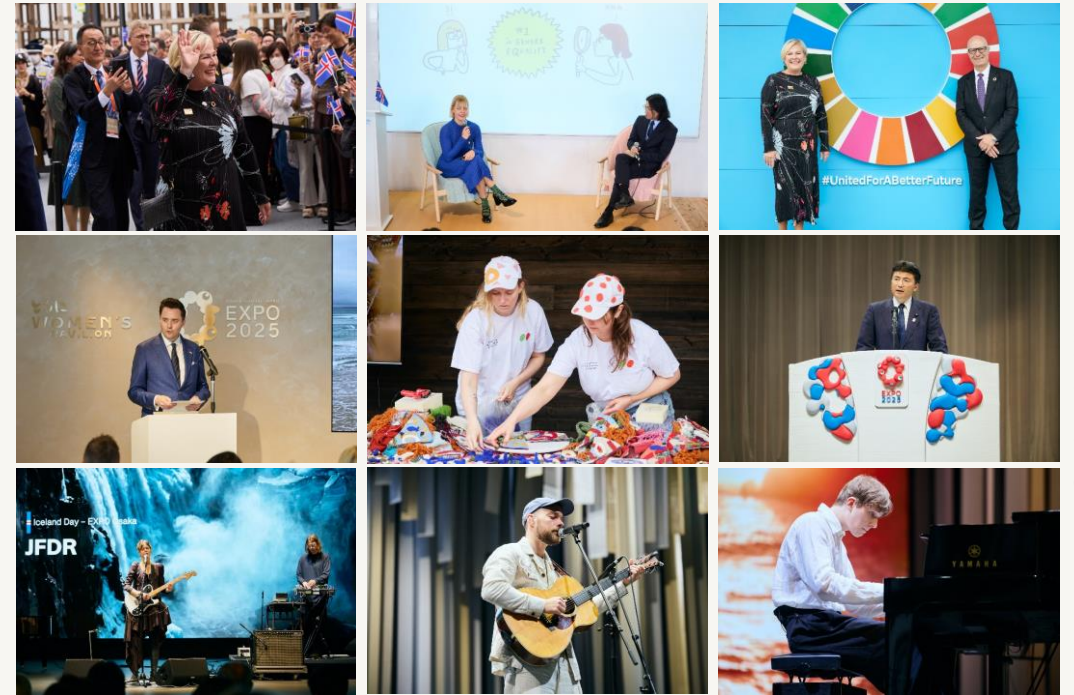
ウーマンズパビリオンにて、ビジネス界での活躍を経て史上2人目の女性大統領となったハトラ・トーマスドッティル大統領が女性のエンパワーメントと持続可能な社会に向けた行動について、自らの歩みや経験をもとに語られました。

<アイスランドの文化が広がる北欧パビリオンを一般公開>

午後には北欧パビリオンにて、アイスランドのデザイナーユニット、Flétta and Ýrurariによるウール産業で残ってしまったウールを使ったアートパフォーマンス「Pizza Time」が開催されました。

<公式式典>

夕方にはナショナルデーホール「レイガーデン」にて、シンガーソングライターのJFDRや2023年フジロック以来の待望の来日パフォーマンスとなるÁsgeir、作曲家・ピアニストのGabriel Ólafssonによるパフォーマンスで1日を締めくくりました。



© Robin Skjoldborg

※1：「世界平和度指数（Global Peace Index, GPI）」で17年連続世界1位にランクイン（2024年発行）

※2：「ジェンダーギャップ指数」ランキングで16年連続世界1位にランクイン(2024年発行)



ナショナルデー | ノルウェー

テーマ：再生可能エネルギーと海の環境にやさしいビジネス

日付：2025年6月2日(月) - 大阪、2025年6月3日(火) - 東京

「ノルウェー・ナショナルデー」は、エスペン・バット・アイデ外務大臣（以下、外務大臣）がご来場し、日本とノルウェーの外交関係樹立120周年という節目を祝う、特別な1日となりました。

<公式オープニングセレモニー> 「日・ノルウェービジネスダイアログ」

外務大臣をはじめ、ノルウェーを代表する政府関係者・企業代表が多数出席し、日本政府代表として、松本尚外務大臣政務官からも祝辞が述べられました。ノルウェーを代表するシンガー Helene Bøksle氏、北欧やUKの著名アーティストとも多数コラボレーション経験を持つ作曲家 Eirik Berge 氏による特別パフォーマンスも行われました。

<「日・ノルウェービジネスダイアログ」>

午後には北欧パビリオン内にて、「日・ノルウェービジネスダイアログ」が開催されました。クリスティン・イグルム駐日ノルウェー大使より開会のご挨拶に始まり、外務大臣およびノルウェー貿易振興機構 CEO ハーコン・ハウグリ氏より基調講演が行われました。

<ウクライナ・パビリオン訪問>

外務大臣は万博会場内の日本館、北欧パビリオン、大阪ヘルスケアパビリオン、国連パビリオン、大屋根リングなどを視察されたのち、ウクライナパビリオンを訪問しました。ウクライナ・パビリオンディレクターのインナ・イリナ氏から戦時下でのウクライナのビジネス等について記載されているノートブックがプレゼントされました。その後、外務大臣は報道関係者向けにQAセッションを行いました。



© Robin Skjoldborg



ナショナルデー | フィンランド

テーマ：フィンランドの幸せの1日

日付：2025年6月12日（木）

「フィンランド・ナショナルデー」では、2024年に大統領に就任したアレクサンデル・ストゥップ大統領（以下、大統領）を迎え、フィンランドが誇る持続可能なライフスタイルや文化を体験できる多彩なプログラムが展開されました。

<公式オープニングセレモニー>

大統領と、夫人スザンヌ・イネス＝ストゥップ氏が登壇し、「幸福度世界一」と称される（※1）フィンランドの幸福の根底にあるものについてお話されました。また日本政府代表として、伊東良孝国務大臣からも祝辞が述べられました。会場には今年で出版80周年を迎えるムーミンも登場したほか、フィンランドが誇るアカペラグループ Tuuletar、ユーロビジョン2023で世界的に話題を呼んだフィンランドを代表するアーティスト「Käärijä」がパフォーマンスを披露しました。

<「サステナブル・ライフスタイル-北欧スタイル」>

午後は「サステナブル・ライフスタイル-北欧スタイル」をテーマに、サステナブル・ライフスタイルに関するセミナーが開催され、フィンランドおよび日本のファッション・テキスタイル業界を代表するリーダーが登壇しました。

<サンタクロース来日>

北欧パビリオンには冬の象徴であるサンタクロースがフィンランドから来日したほか、フィンランドの文化の象徴として知られるサウナも登場しました。

<「Party Like a Finn（フィンランド人のようにパーティーしよう）～ロック&ファッション～」>

夜はスペシャルステージが開催され、「Urban Wellbeing」「Unique Classics」「New Environment」という3つのテーマで、フィンランドのライフスタイルとファッションブランドによるランウェイショーを展開しました。



© Robin Skjoldborg

※1: 国連の「世界幸福度報告書」で8年連続、世界一幸福な国に選出（2025年）

Joint Nordic Day | 北欧文学デー

テーマ:絵本からミステリーまで、 北欧文学の旅

日付:2025年8月30日(土)~31日(日)

概要:

北欧の児童文学は、『長くつ下のピッピ』や『ムーミン』といった象徴的なキャラクターたちによって世界中で愛され続けています。8月30日(土)、こうした物語の不朽の魅力を再発見し、困難な問題に対して誠実かつ繊細に取り組む北欧児童文学の姿勢を、親子や若い読者の皆さんとともに考えました。

8月30日(日)は、「北欧ミステリー」をテーマとした特別イベントを開催。北欧と日本を代表するミステリー作家や文芸評論家が集い、作品の魅力や背景にある社会的テーマについて語り合いました。



Joint Nordic Day | ジェンダー平等デー

テーマ：ジェンダー平等がもたらす持続可能な成長

日付：2025年9月1日（月）

概要：

当日は、北欧閣僚理事会 副事務総長のイダ・ハイマン・ラーセン氏や北欧閣僚理事会のハッラ・ノルスー・ポウルセン氏が登壇し、基調講演2部、パネルディスカッション3部にて構成されています。世界で最もジェンダー平等が進んでいるとされるアイスランドをはじめ、国際ランキングで常に上位に位置する北欧諸国の政策や実践を踏まえ、女性リーダーシップの促進、男性中心分野への女性参画、育児支援・福祉制度のあり方などを多角的に議論します。少子化や経済の持続性といった日本と北欧に共通する課題に対し、実践的な解決策と相互学習の可能性を探ります。



Joint Nordic Day | フードデー

テーマ:サステナビリティとイノベーション、そして未来の食の形

日付:2025年9月2日(火)

概要:

本イベントでは、北欧ならではの食と文化の魅力や、革新的な取り組みをご紹介します。健康をサポートする機能性食品、持続可能な方法で調達されたシーフード、動物福祉に配慮した食肉商品、独創的なお菓子など、北欧が誇る「信頼・サステナビリティ・実用的イノベーション」を象徴する数多くの高品質な製品をご紹介します。





デンマーク -食品の持続可能性・安全性・革新的ソリューションによる未来志向の食システム

■持続可能な水産物とバリューチェーン

デンマークは責任ある水産物生産で世界的に評価されており、**厳格な食品安全基準と持続可能な資源管理を両立**しています。Royal Greenland社は北極海の高級水産物を完全トレーサビリティで提供し、Varðin社は、農家・企業・研究者・政府が連携したバリューチェーンにより、**安定的で安全・高品質な食料を食卓まで届ける仕組みを確立**しています。またデンマークの食品テクノロジー分野は革新的で、持続可能なシステム構築を支えています。Novonesis社は微生物・酵素・プロバイオティクスを活用して食品の安全性を高め、環境負荷を低減しています。これらの技術と取り組みにより、**効率的で持続可能な食の流通と消費が実現**しています。

■日本とのパートナーシップと持続可能な食への取り組み

デンマークと日本は155年以上にわたる外交関係を通じて、**安全で安心な持続可能な食システムの構築**に共通の目標を持ちます。最近のEU-日本間での有機認証基準相互承認により、高品質有機製品の分野での協力機会が広がっています。デンマークの強みを活かし、健康的で持続可能な食文化の発信と日本とのパートナーシップ強化が進められている。



Solutions of tomorrow
By Denmark



novonesis



スウェーデン -サステナブルな農業と国際競争力のある食品産業

■持続可能な食材とバリューチェーン

スウェーデンは環境保全と食の品質を両立する国として知られ、**再生可能エネルギーを活用した農業・生産体制を確立**しています。

Dream of Sweden社は、北欧の自然に着想を得たプレミアム菓子やギフトを展開し、デザイン性と高品質を兼ね備えた持続可能な商品を提供しています。さらに、Lantmännen Biorefineries社は、オーツ由来のタンパク質「PrOatein」やベータグルカン「PromOat」を通じて、植物性原料を軸としたサステナブルフードを支えています。

■革新と国際的評価

スウェーデンの食品産業は革新性と国際競争力で世界的に評価されています。**2025年には、Orkla Snacks社が「TIME100 世界で最も影響力のある企業」に選出**され、プレミアム菓子や植物性原料食品の革新事例として注目を集めました。スウェーデン食品連盟（約750社）は輸出促進や競争力強化を推進し、日本とも共通する価値観を基盤に協力関係を深めています。





アイスランド -再生可能エネルギーと革新が支える食品産業

■再生可能エネルギーと持続可能な食材

アイスランドは自然とイノベーションが共存する島国であり、**食品生産のほぼすべてが再生可能エネルギーに支えられています**。冷たく澄んだ北大西洋からの豊かな水産資源は、厳格な資源管理のもとで持続可能に活用され、鮮度と純度で高く評価されています。また、乳製品やラム肉は抗生物質やホルモン剤を使わず、広大な自然の中で放牧された動物から生まれています。象徴的な食品である**スキール**は、**千年以上にわたり食文化を支えてきた伝統的な乳製品であり、現代の健康志向にも対応する食品**として進化しています。



■革新事例と国際的評価

アイスランドの食品産業は、自然資源を最大限に活かした革新的な取り組みで国際的に高く評価されています。**海洋副産物を機能性食品や天然サプリメントに転換し、微細藻類を栄養や化粧品に活用**するなど、付加価値の高い事例が次々と生まれています。さらに、地熱を活用した温室では年間を通じて野菜が栽培され、クリーンラベルや砂糖不使用の製品開発も進められています。アイスランドは、再生可能エネルギーと先進的なソリューションを融合させ、日本市場に新たな食の可能性を提供しています。



ノルウェー -サステナブルなシーフードと発酵技術の革新

■持続可能なシーフードと食文化交流

ノルウェーは世界有数のシーフード輸出国であり、日本市場においても高い信頼を得ています。特に「サーモン寿司」を日本で最初に広めた国として知られ、今年はその40周年を記念し、長年にわたる食文化交流の歴史とノルウェー産シーフードの魅力を発信します。冷涼で清浄な海から届けられるノルウェー産サーモンやタラは、厳格な資源管理とトレーサビリティに基づいて生産されており、品質、安全性、持続可能性のすべてにおいて世界基準となっています。

■革新事例と国際的評価

ノルウェーは漁業・養殖分野での技術革新に加え、食品副産物の活用にも注力しています。NoMy社は「麴菌」を用いた持続可能なマイコプロテインを開発し、日本の発酵文化と先端フードテックを結びつける革新的な事例を紹介しています。さらに、Leroy、Salmar、MOWI、Lofoten Seaweed、TINE（乳製品）、Fuglen（コーヒー）など多彩な企業が参加し、シーフードから乳製品、ベーカリーまで幅広い食のソリューションを展開しています。



イメージ画像



フィンランド - 食品の高品質・安全性・自然由来の純粋さと持続可能なイノベーション

■自然の恵みを活かした持続可能で高品質・安全な食品

フィンランドは、**世界屈指の食品安全基準と透明な管理体制で食品の安全性を確保**しています。原料から製品までの完全なトレーサビリティにより、健康リスク時の迅速な回収が可能です。また家畜はストレスの少ない環境で飼育するなど、**外部検査や現場サンプリング、内部管理による衛生管理で高水準を維持**しています。

また北国の短く涼しい夏と長い冬により、植物は栄養価と味を凝縮するほか、冬の土壤凍結で害虫や病気が減少するなど、手つかずの自然と清浄な土壌・水資源が高品質・純粋さの源となり、**農薬使用を抑制、気候適応作物、輪作、有機農法で持続可能な農業を実践**しています。

■ビジョナリーな食品イノベーション

健康・持続可能性・ウェルビーイングを重視し、製品と生産プロセスで革新を起こしています。植物性タンパク、非動物・非植物性タンパク、特別食対応製品を展開しています。野生のベリーやキノコを活用した高級・健康志向製品も国際市場に展開しています。オート麦を使ったドリンク、スナック、パン、発酵乳代替品など、**栄養価と味を両立**しています。



パートナー企業

プラチナムパートナーズ

THE A.P. MOLLER
FOUNDATION


Danish Crown


DNV


IEQT

FAM investor


LEGO

novo nordisk
foundation

 SAAB


SEAFORM
FROMWAY
NORD


Tetra Pak®

VOLVO ERICSSON 

ゴールドパートナーズ


ALFA
ROMEO


Autoliv


Bona®


equinor

GETINGE 

 HemoCue

 KONGSBERG


Ministry of Agriculture
and Forestry of Finland


NOKIA

シルバーパートナーズ

BLUE LAGOON
ICELAND


FINNAIR

 GE HealthCare

ICELANDAIR 

ICELANDIC
SEAFOOD

Ísey
SKYR®

JYVÄSKYLÄ 

kerecis®

the Nordic Metaverse Day

 Metsä


MÖKKI
Lifestyle of a New Generation

 OULU

 Reykjavík

 RystadEnergy

 SCANIA

 Statkraft

 Visit Finland

 WirelessCar

ブロンズパートナーズ

BoConcept®


BY APPOINTMENT TO
THE ROYAL DANISH COURT
CARL HANSEN & SØN

 Elektro

HAY

 Minesto

SKILL
EFTEA

 sobi
rare strength

SSAB

 Stockholm
The Capital of Scandinavia

UMEÅ
KOMMUN

商品提供パートナーズ


H&M

marimekko

VIBA®

プラチナムパートナーズのご紹介

THE A.P. MOLLER
FOUNDATION

THE A.P. MOLLER FOUNDATION (DK)

www.apmollerfonde.dk/the-a-p-moller-foundation/

A.P.モラー財団は、デンマークの慈善商業財団です。1953年にA.P.モラー氏が子どもたちの支援を受けて設立し、A.P.モラーグループの長期的な存続と、核心となる価値観や原則の維持を目的としています。この財団は、A.P.モラー氏と、彼のアメリカ人の妻であるチャスティーン・マッキニー・モラーにちなんで名付けられました。

A.P.モラー財団は、デンマークの法律に基づき、財団規約に記載された目的以外のいかなる利害からも独立して運営されています。A.P.モラー財団の寄付は、A.P.モラー氏の遺志と、彼が特に重視していた事柄に基づいています。すべての寄付は慈善目的であり、公共の利益のために行われています。



The LEGO Group (DK)

<https://www.LEGO.com/en-gb>

とLEGOグループは、「遊び」の力を通じて未来の創造者を鼓舞し育てることを使命としています。LEGOブロックを基盤とする「LEGOシステム・イン・プレイ」は、子どもやファンが想像力を使って自由に作り直すことを可能にします。LEGOグループの歴史LEGOグループは1932年にデンマークのビルンにて、オーレ・カーク・クリスチャンセンによって設立されました。その名前は、デンマーク語の「LEg GOdt」（よく遊ぶ）という2つの言葉に由来しています。現在、LEGOグループは本社をビルンに構えたまま、家族経営の会社として運営されており、その製品は世界120か国以上で販売されています。LEGOグループは、「遊び」の力がより明るく、創造的な未来を形作ると信じています。EXPOは、イノベーション、持続可能性、そしてグローバルな協力を促進するためのユニークなプラットフォームを提供します。EXPO 2025の北欧パビリオンを支援することは、これらの理念へのコミットメントを示すとともに、「遊びを通じた学び」が強く創造的な社会を築く未来への貢献を目指す私たちの姿勢を表しています。

novo nordisk
foundation

Novo Nordisk Foundation (DK)

<https://novonordiskfonden.dk/en/>

ノボノルディスク財団は、デンマークの独立した企業財団で、非営利組織として運営されています。企業やその他の金融資産への所有・投資から得られる資金を活用し、慈善活動を支援しています。ノボノルディスク財団のビジョン財団は、人々の健康、社会の持続可能性、そして地球の持続可能性を向上させることを目指します。

ノボノルディスク財団は、EXPO 2025の主要目的「世界の知恵を結集し、画期的な技術を含む新しいアイデアを生み出し、伝えること」の重要性を認識しています。このグローバルな場は、デンマークの研究と革新的なソリューションがもたらす、人々と地球の健康への貢献を示す絶好の機会となります。また、EXPO 2025は、イノベーションを促進し、国際的な研究協力を深化させるための独自の対話の場を提供します。



Danish Crown (DK)

<https://www.danishcrown.com/global/>

Danish Crownは、デンマークの農家が所有する協同組合型の食肉加工企業で、1887年の創業以来130年以上にわたり業界をリードしてきました。同社は、高品質な食肉製品の提供を通じて、持続可能性や倫理的生産、イノベーションを企業活動の中心に据えています。また、農家から食卓までの完全な追跡可能性を確保し、消費者に安心と信頼を提供することでグローバル市場で高い評価を得ています。Danish Crownは、最先端技術への継続的な投資と厳格な検査体制により、常に最高品質を維持することを目指しています。さらに、長年の経験を基盤に、製品の均一性や信頼性を保証し、顧客ニーズに応じたオーダーメイド製品を提供する柔軟性も備えています。環境への配慮を重視しつつ、安全で高品質な食品を通じて消費者に価値を届けることに努めています。

プラチナムパートナーズのご紹介



Statkraft (NO)

<https://www.statkraft.com/>

Statkraftは、ノルウェー政府が所有する国営企業で、再生可能エネルギーのリーダーとして世界的に認識されています。同社は、100年以上にわたり水力発電、風力発電、太陽光発電を中心にクリーンなエネルギーを生産し、持続可能な未来の実現に貢献しています。

Statkraftのビジョンは、持続可能なエネルギーソリューションを通じて、気候変動に取り組みながら経済的成長と社会的福祉を推進することです。Statkraftは、2025年大阪・関西万博のテーマである「未来社会のデザイン」の重要性を認識しており、再生可能エネルギーの分野におけるノルウェーの専門性とグローバルな革新を発信する絶好の機会としています。また、同イベントを通じて、世界中のパートナーとの連携を深め、新しいエネルギーソリューションの可能性を探る場としています。



DNV (NO)

<https://www.dnv.com/>

DNVは、ノルウェーを拠点とする独立系の認証機関およびリスクマネジメント企業です。1864年の設立以来、DNVは品質、環境、安全、持続可能性に関する認証、検査、リスクアセスメントの分野で世界的なリーダーとして活動しています。

DNVは、産業界や企業が持続可能で信頼できる運営を実現するためのソリューションを提供しており、特に海運、エネルギー、医療、食品安全など幅広い分野での実績があります。また、科学に基づくアプローチを通じて、気候変動やデジタルトランスフォーメーションといった現代の課題に対処しています。

DNVのミッションは、「地球、そして人々の安全で持続可能な未来を確保する」ことであり、そのグローバルな信頼性と専門知識により、企業やコミュニティのパートナーとして確固たる地位を築いています。



Norwegian Seafood Council (NO)

<https://en.seafood.no/>

ノルウェーは、現在約150カ国にシーフードを輸出している世界第2位の水産物輸出国です。毎日4,200万食ほどのノルウェー産シーフードが世界各地で楽しまれています。ノルウェーは世界で販売されているサーモンやサバの主な原産地のひとつです。ノルウェー産のサーモンはノルウェー政府の認可を得た養殖場にて、海水環境の保全を考え、サステナブルに養殖されています。

北ヨーロッパのスカンジナビア半島の西岸に位置する南北に細長いノルウェーの海岸沿いには1,700以上のフィヨルドがあり、氷河の水が大西洋に流れ込むことから、冷たく透明で塩分の低い海水に満ちて魚にとって最適な環境です。ノルウェーの冷たく澄んだ海でゆっくりと育まれる魚は、身が大きく引き締まり、脂がたっぷり乗ることで引き出される豊かな旨みの特徴です。また、高品質のシーフードを世界中に提供し続けるために、代々伝わる経験を基に、最新技術と専門知識を駆使しつつ、ノルウェーの海と資源に配慮した持続可能な漁法で漁獲・養殖を行っています。「Seafood from Norway」の原産地表示は、ノルウェーが世界で品質の誉れ高い水産物の原産国であるとともに、それを保証することを示すものです。



Tetra Pak (SE)

<https://www.tetrapak.com/>

テトラパックは、1951年にスウェーデンで設立された食品加工と紙容器包装の世界的リーディング企業です。「大切なものを包んでいます (PROTECTS WHAT'S GOOD)」をモットーに、食品を安全かつ栄養価を保ちながら提供し、地球環境への配慮を重視しています。現在、世界160カ国以上で事業を展開し、24,000名以上の従業員を擁しています。

日本では1962年に設立され、1971年から御殿場工場で紙容器の製造を開始しました。同社は新技術の導入や革新を通じて食品・飲料業界の成長を支援し、持続可能なソリューションを提供しています。

2025年の大阪・関西万博では、持続可能な包装技術を活用した食品ロス削減や食品安全性の向上への取り組みを紹介し、リサイクル活動や学校給食などの具体例を通じて脱炭素・循環型経済へのコミットメントを示します。テトラパックは、この万博で「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に貢献することを目指しています。

プラチナムパートナーズのご紹介

VOLVO

Volvo Ericsson (SE)

<https://www.volvogroup.com/en/>

<https://www.ericsson.com/en>



Volvo Groupは、トラック、バス、建設機械、そしてさまざまな産業向けのパワーソリューションを提供するグローバルリーダーです。同社は、ゼロエミッション技術と自律型ソリューションの開発を通じて、持続可能な未来を切り開くことを目指しています。電動トラックや電動バスをはじめ、効率的で環境に優しい建設機械の提供に注力しており、輸送やインフラ分野における排出削減の推進役となっています。また、持続可能性を企業戦略の中心に据え、社会や地球環境に貢献するための革新を進めています。

Ericssonは、世界トップクラスのネットワーク技術を提供する企業として、毎日数十億人をつなぎ、社会の基盤となる通信を支えています。5G技術をはじめとする革新的なソリューションにより、人々の生活をより便利にし、スマートシティや遠隔医療などの新しい社会インフラの実現を可能にしています。また、エネルギー効率の高いネットワーク技術を活用することで、持続可能性への取り組みにも力を入れています。通信を通じてビジネスモデルを再定義し、無限の接続性によって人々の暮らしを向上させるとともに、より良い未来の構築に貢献しています。



SAAB

Saab

<https://www.saab.com/about>

Saab（サーブ）は、スウェーデンを拠点とする世界的な防衛およびセキュリティ企業です。同社は、防衛、航空宇宙、セキュリティ分野において最先端の技術とシステムを提供し、世界中の政府や機関、商業顧客の安全を支えています。

Saabの主力製品には、高性能な戦闘機、潜水艦、レーダーシステム、監視技術、トレーニングシステムなどが含まれます。また、サステナビリティとイノベーションを企業の中核に据え、効率的かつ持続可能な防衛およびセキュリティソリューションを開発することに注力しています。Saabは、「安全で持続可能な社会の実現」に貢献することを使命としています。



EQT

<https://eqtgroup.com/>

EQTは、スウェーデンを拠点とするグローバルな投資企業で、持続可能な成長と価値創造を目指した投資を行っています。同社は、プライベートエクイティ、インフラストラクチャ、リアルエステート、ベンチャーキャピタルなど幅広い分野で資産管理を行い、企業や社会の発展をサポートしています。

EQTの投資哲学は、「持続可能性」と「イノベーション」に重点を置いており、投資先企業が環境、社会、ガバナンス（ESG）の課題に積極的に取り組むよう支援しています。EQTは、投資活動を通じて経済的価値だけでなく社会的価値を生み出し、長期的に持続可能な未来を構築することを目指しています。

Contact

The Nordic Pavilion / 北欧パビリオン PR事務局 (株)プラチナム内)

担当：福澤・高木・須齋

Mail：nordic_pavilionPR@vectorinc.co.jp

TEL：03-5572-7351 FAX：03-5572-607

北欧パビリオン PR

担当：岡村

Follow us here.

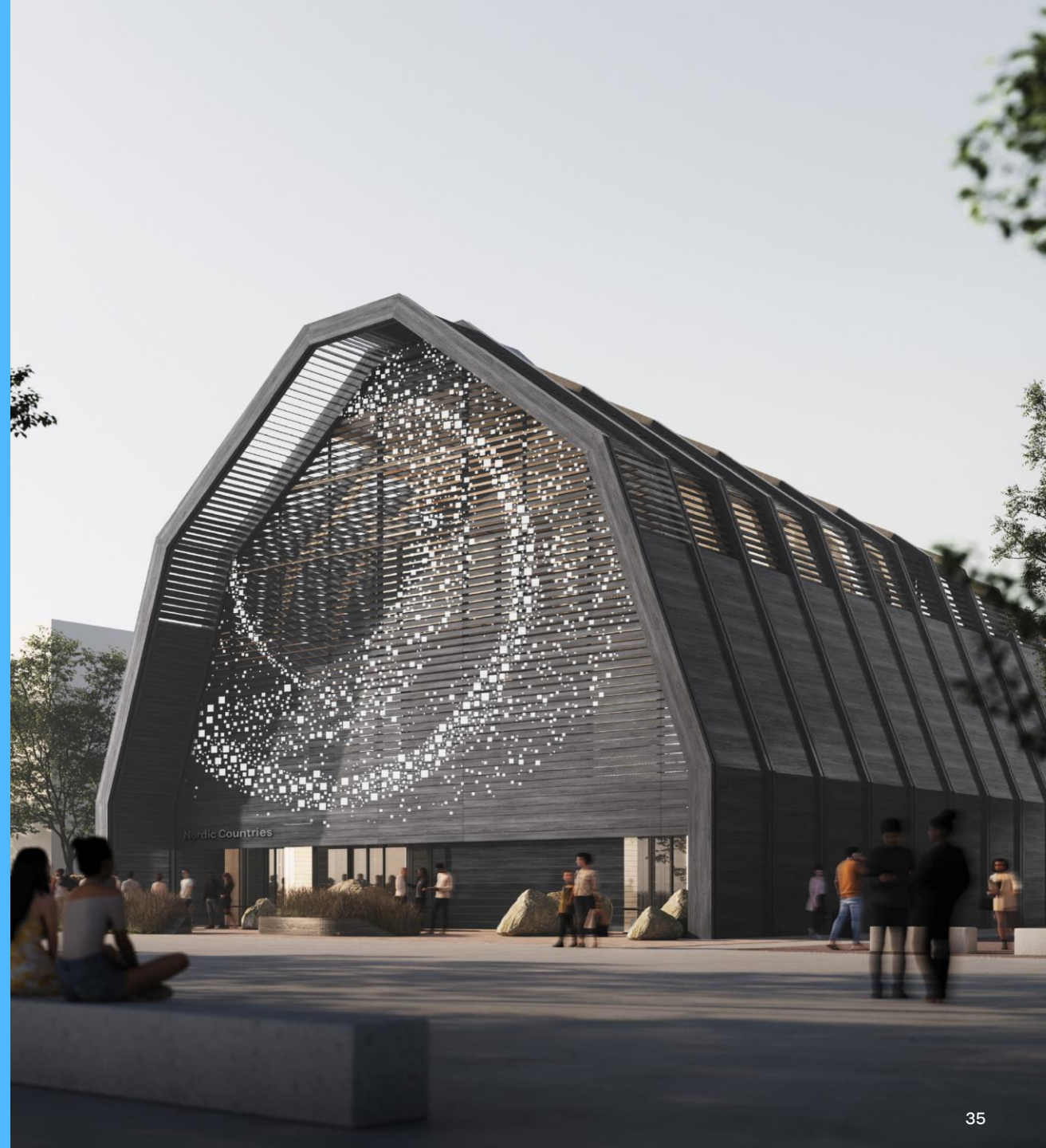
[Website](#)

[LinkedIn](#)

[Instagram](#)

[Facebook](#)

[X](#)





**Thank you.
See you in Osaka**

The Nordic Pavilion

Social Media Accounts

北欧パビリオン/Nordic Pavilion



@nordicexpo2025



nordicexpo2025osaka



NORDICS AT
EXPO 2025

